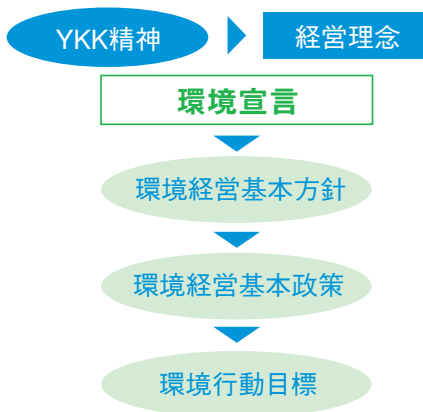
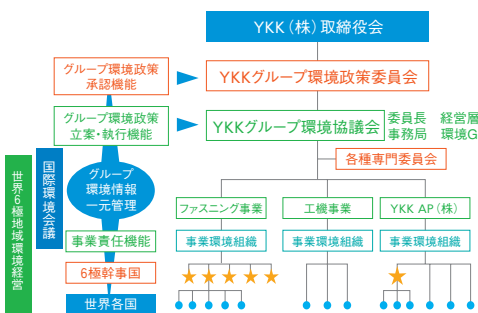




YKKグループは、1994年9月に『YKKグループ環境憲章』を制定し、グループ全社を挙げて環境対策に取り組んでいます。この環境憲章は、人類の豊かで健康な生活と環境との調和を目指し、企業活動のすべてにわたって環境の保全・改善に向けて行動することを基本理念に掲げています。

YKKグループは、1994年9月に『YKKグループ環境憲章』を制定し、グループ全社を挙げて環境対策に取り組んでいます。この環境憲章は、人類の豊かで健康な生活と環境との調和を目指し、企業活動のすべてにわたって環境の保全・改善に向けて行動することを基本理念に掲げています。

YKKグループ環境経営体系: 地球環境を守るための企業の社会的責任を明確にするため「YKK精神」に基づくグループ統合環境政策として、『環境と調和した事業活動の推進』を事業の最優先課題とすることを1994年に宣言しました。世界視点に立った環境問題対応が必須と考え、世界のあらゆる地域で同一歩調をとる世界6極地域環境経営を推進しています。

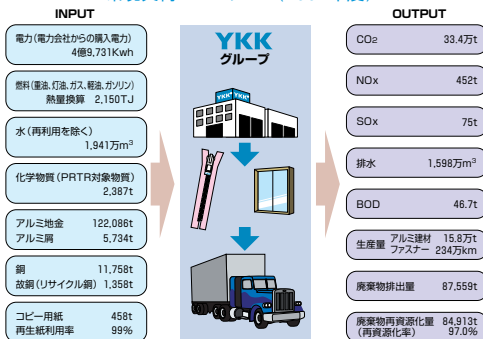


環境経営基本方針と政策: YKKグループは環境宣言を受け、中期環境経営基本方針に「循環型社会構築への寄与」を掲げ、主要事業である建材事業やファスニング事業がおよぼす環境負荷低減のために、4つの項目を中期環境経営基本政策と定め、それに沿った環境行動目標に取り組んでいます。

○環境経営基本政策

1. グリーンマーケットへの対応と貢献
2. 環境負荷低減経営の更なる徹底
3. グローバル環境経営システムの構築と活用
4. 環境コミュニケーションの推進

YKKグループ国内工場・オフィスの環境負荷マスマランス (2004年度)



事業における環境負荷(マスマランス): 建材やファスニング製品の製造には大量のエネルギーと化学物質が必要で、CO₂や廃棄物も排出されます。

YKKグループでは、最先端の省エネ設備導入やCO₂・NOx・SOx排出量の少ない燃料への転換、有害化学物質の代替化などを積極的に図るとともに、資源の有効利用やゼロ・エミッション(廃棄物の埋め立てゼロ)を進めています。

原材料においても、社内で発生する回収屑やアルミホイール、サッシ屑、木粉、再生チップ、故銅などの市場リサイクル材を投入することにより、環境負荷の低減に努めています。